

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成26年度)

## 2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ④観光分野(1/7)

	評価区分 (※)	評価結果 (ⅠとⅡとⅢの平均値)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗に関する評価	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	総合評価	
九州アジア観光アイランド総合特区 (福岡県等)	正	4.3	4.7  進捗度 ・アジアを中心とした九州への入国外国人数 117%  ・九州における年間観光消費額 88%  ・九州への外国クルーズ客船の延べ寄港数・延べ寄港者数 149%	4.2  規制の特例等 ・地域活性化総合特別区域通訳案内士育成等事業  地域独自の取組 ・九州観光推進機構の一般社団法人化等 等	4.0	<p>・アジアにおける九州の知名度が確実に上がり、訪日外客の伸びを実感している。九州全県が連携してインバウンドに取り組むという方向性が高く評価できる。</p> <p>・観光消費額を伸ばすためには、原因分析(宿泊・飲食・物販部門ごと／客層ごとなど)が必要。爆買い頼みの消費額向上目標にならないよう、地に足を付けた地域の魅力づくりの掘り起こしに期待したい。</p> <p>・規制の特例措置を使った事業と評価指標に直接的な関連性が見られない。方向性はいいが、特区ガイドによる現地発着ツアー数など特区ガイドの年間稼働数を示す等、指標の見直しの検討が必要。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)